

平面上の直線のパラメタ表示・ベクトル方程式

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L04(2024-04-19 Fri)

最終更新: Time-stamp: "2024-04-24 Wed 13:15 JST hig"

今日の目標

- 加藤 線形代数 p.183 直線のパラメタ表示を説明できる
- 加藤 線形代数 p.183 法線ベクトルを用いた直線の方程式が説明できる



L03-Q1

Quiz 解答:3次元ベクトルの外積

$$\textcircled{1} \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ -2 \end{bmatrix} \times \begin{bmatrix} -6 \\ 4 \\ -5 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 3 \cdot (-5) - 4 \cdot (-2) \\ -2 \cdot (-6) - (-5) \cdot 1 \\ 1 \cdot 4 + (-6) \cdot 3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -7 \\ 17 \\ 22 \end{bmatrix}.$$

$$\textcircled{2} - \begin{bmatrix} -7 \\ 17 \\ 22 \end{bmatrix}.$$

$$\textcircled{3} \mathbf{0}.$$

L03-Q2

L03-Q3

Quiz 解答:3次元ベクトルの外積・スカラー3重積 右手の中指の理想的な(親指人差し指と直交する)向きは, $\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix} \times \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \\ 0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ 3 \\ -8 \end{bmatrix}$.

右手だとする. このとき, 上で求めた向きと, 問題文の実際の右手中指の向きのなす角は $\frac{\pi}{2}$ 未満であるはず.

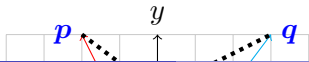
しかし, 内積 $\begin{bmatrix} 2 \\ 3 \\ -8 \end{bmatrix} \cdot \begin{bmatrix} -1 \\ -2 \\ 3 \end{bmatrix} < 0$ なので, 矛盾. よって左手.

命題 (射影の性質)

- 正射影ベクトルの絶対値はスカラー射影の絶対値である.
なぜなら $(\mathbf{b} \cdot \mathbf{u}_a)\mathbf{u}_a = \dots$
- \mathbf{b} の \mathbf{a} への正射影ベクトルは, 零ベクトルであるか, \mathbf{a} と平行である (向きは内積 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ の符号による).
- \mathbf{b} の \mathbf{a} への正射影ベクトルとベクトル \mathbf{b} の差は, ベクトル \mathbf{a} と直交する.
なぜなら $(\mathbf{b} \cdot \mathbf{u}_a)\mathbf{u}_a - \mathbf{b} = \dots$

原点を通り \mathbf{a} に平行な直線に, \mathbf{b} の終点から下ろした垂線の足を考える

- スカラー射影の絶対値を求めなさい \Leftrightarrow 原点から垂線の足までの距離を求めなさい
- 正射影ベクトルを求めなさい \Leftrightarrow 原点を始点, 垂線の足を終点とするベクトルを求めなさい



ここまで来たよ

3 ベクトルの外積

4 平面上の直線のパラメタ表示・ベクトル方程式

- 直線のパラメタ表示と方程式

平面内の直線のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.183

c を通り $a(\neq 0)$ に平行な直線のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.183

$$x - c = at$$

$$\text{すなわち } x = at + c \quad (t \in \mathbb{R} \text{ はパラメタ})$$

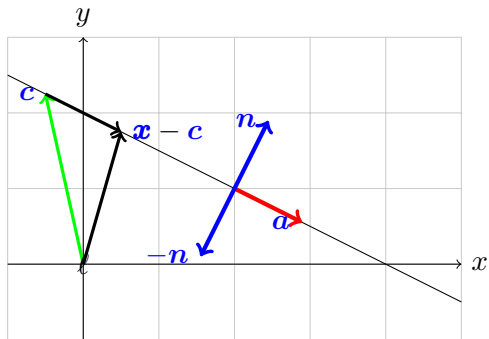
a を直線の接(線)ベクトルという。

理由

- チェック 1 c を通る
- チェック 2 a に平行である

$x = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$, $a = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}$, $c = \begin{bmatrix} c_1 \\ c_2 \end{bmatrix}$ として成分で書くと,

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} c_1 \\ c_2 \end{bmatrix}.$$



GeoGebra(動的幾何ソフトウェア,Web アプリ)

平面内の直線のパラメタ表示

<https://www.geogebra.org/m/skj88vSN>



射影による理解

\boldsymbol{x} が直線上にあるための必要十分条件は、

$\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}$ の、 \boldsymbol{a} への正射影ベクトルが、 $\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}$ のままであること。

$$((\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{u}_a) \boldsymbol{u}_a = (\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c})$$

スカラー $((\boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}) \cdot \boldsymbol{u}_a)$ を $k \in \mathbb{R}$ とおくと $k\boldsymbol{u}_a = \boldsymbol{x} - \boldsymbol{c}$

$$\boldsymbol{x} = k\boldsymbol{u}_a + \boldsymbol{c}$$

$$\boldsymbol{x} = k \cdot \frac{1}{|\boldsymbol{a}|} \boldsymbol{a} + \boldsymbol{c}$$

$$t = \frac{k}{|\boldsymbol{a}|} \text{ とおくと, } \boldsymbol{x} = \boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c}$$

パラメタ表示とは

$$\text{直線上の点の集合} = \{\mathbf{x} = \mathbf{a}t + \mathbf{c} \in \mathbb{R}^2 \mid t \in \mathbb{R}\}$$

\mathbf{a} , \mathbf{c} を固定して, t を実数全体を動かしたとき, $\mathbf{a}t + \mathbf{c}$ は直線全体を動く. このとき, $\mathbf{a}t + \mathbf{c}$ を直線のパラメタ (媒介変数) 表示, t をパラメタ (媒介変数) という.

\mathbb{R} 実数全体, \mathbb{R}^2 2次元ベクトル全体=平面

1つの直線には複数の媒介変数表示がある.

例: $\mathbf{x} = \mathbf{a}t + \mathbf{c}$, $\mathbf{x} = 2\mathbf{a}t + \mathbf{c}$, $\mathbf{x} = -\mathbf{a}t + \mathbf{c}$, $\mathbf{x} = \mathbf{a}t + (\mathbf{a} + \mathbf{c})$ はすべて同じ直線を表す.

L04-Q1

Quiz(直線のパラメタ表示)

ベクトル $\mathbf{p} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に平行で, 点 $\mathbf{r}_0 = \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}$ を通る直線を考える.
直線のパラメタ表示を何個か作ろう (ベクトルで).

点が、パラメタ表示された直線上にあるかどうかの判定

点 \mathbf{x}_0 と、パラメタ表示された直線 $\mathbf{x} = \mathbf{a}t + \mathbf{c}$ を考える。

$\mathbf{x}_0 = \mathbf{a}t + \mathbf{c}$ となる t がひとつでも存在すれば、この t についての方程式に解 t が存在すれば、 \mathbf{x}_0 は直線上にある。

L04-Q2

Quiz(直線のパラメタ表示)

次のパラメタ表示を持つ平面上の直線を考える.

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 1 \\ 8 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R})$$

点 $\begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 5 \\ 29 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 5 \\ 18 \end{bmatrix}$ はそれぞれ直線上にあるか, 判定しよう.

mobius L04.1

平面上の直線のベクトル方程式

c を通り $n(\neq 0)$ と垂直な直線のベクトル方程式 加藤 線形代数 p.183

$$n \cdot (x - c) = 0.$$

n を直線の法(線)ベクトルという.

理由

- チェック 1 c を通る
- チェック 2 n に垂直である

$c \cdot n = C$ (実数の定数) とおくと,

$$n \cdot x - C = 0 \quad (C \text{ は定数})$$

となる. $x = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$, $n = \begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$ として成分で書くと,

$$ax + by - C = 0.$$

<https://www.geogebra.org/m/bxNHWG6P>



射影による理解

$\mathbf{x} - \mathbf{c}$ の, \mathbf{n} へのスカラー射影が 0 とも見られる.

(ベクトル) 方程式とは

$$\text{直線上の点の集合} = \{\mathbf{x} \in \mathbb{R}^2 \mid f(\mathbf{x}) = 0\}$$

となるような (条件) 式 $f(\mathbf{x}) = 0$ のこと.

直線には, 同値な複数の方程式の形がある.

例: $\mathbf{x} \cdot \mathbf{n} - C = 0$, $\mathbf{x} \cdot (2\mathbf{n}) - 2C = 0$, $\mathbf{x} \cdot (-\mathbf{n}) + C = 0$ はすべて同じ直線を表す.

L04-Q3

Quiz(直線のベクトル方程式)

ベクトル $\mathbf{p} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に垂直で、点 $\mathbf{r}_0 = \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}$ を通る直線を考える。
直線の方程式を求めよう。

mobius L04.1

垂直なベクトル

$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}$ に垂直で同じ長さのベクトルは、 $\pm \mathbf{n} = \pm \begin{bmatrix} -a_2 \\ a_1 \end{bmatrix}$ 。

たしかに $\mathbf{a} \cdot \mathbf{n} = 0, |\mathbf{a}| = |\mathbf{n}|$ になっている。

点が, 方程式で表された直線上にあるかどうかの判定

点 \boldsymbol{x}_0 と, 方程式 $f(\boldsymbol{x}) = 0$ を考える.

$f(\boldsymbol{x}_0) = 0$ が成立すれば \boldsymbol{x}_0 は直線上にある.

L04-Q4

Quiz(直線の方程式と点)

次の平面上の直線の方程式を考える.

$$2x + 3y - 19 = 0.$$

点 $\begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 5 \\ 3 \end{bmatrix}$ はそれぞれ直線上にあるか, 判定しよう.

パラメタ表示から機械的に方程式を求める

パラメタ t を消去する.

方程式から機械的にパラメタ表示を求める

いつでもうまくいく方法はない…

平面上の直線の場合はこの方法で.

x 座標を t とおいて y 座標を t で表す. $f(t)$ となったとする.

$$\begin{bmatrix} t \\ f(t) \end{bmatrix} (t \in \mathbb{R})$$

が直線のパラメタ表示.

意味や図を考える方法

どちらで与えられるにせよ, いったん図を描き, その直線のパラメタ表示や方程式を考える.

直線の場合, 接線ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}$ から, それに直交する法線ベクトルが $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} -a_2 \\ a_1 \end{bmatrix}$ と求める方法 (およびその逆) がある.

L04-Q5

Quiz(直線のパラメタ表示と方程式)

- ① 次のようにパラメタ表示される直線の方程式を求めよう.

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 8 \\ 11 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R})$$

- ② 次の方程式で表される直線のパラメタ表示を作ろう.

$$5x - 2y - 10 = 0$$

L04-Q6

Quiz(直線のパラメタ表示と方程式)

- ① ベクトル $\mathbf{p} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に平行で, 点 $\mathbf{r}_0 = \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}$ を通る直線のパラメタ表示と方程式を求めよう.
- ② ベクトル $\mathbf{q} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$ に垂直で, 点 $\mathbf{r}_0 = \begin{bmatrix} 3 \\ 13 \end{bmatrix}$ を通る直線のパラメタ表示と方程式を求めよう.